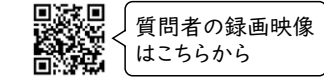




議員 三瓶 文博 さん



ごみ処理の現状とこれからの対策

十分に検証し新たなごみ収集体制案まとめる

答弁

三瓶 新年度予算編成では、基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況をふまえ質問する。

①収集事業の現状と課題や対策

②資源化施設等の現状と対策

③西部焼却施設の今後の計画

④町単独管理運営は費用負担大では

⑤外部委託の今後の見直し

⑥最終処分場と関連施設の現状と課題及び対策

町長 ①ごみ処理体制を大きく見直す時期にある。

②破砕処理に頼らない処理ルートの確立。

③低コストで補修効率の高い補修を行う。

④町が処理していくか、委託で処理するか検討する。

⑤プラごみはリサイクル体制を見直す。飛灰固化物は埋め立てする。廃電池は今後も委託していく。

⑥計画的に整備する。

三瓶 350か所に資源ごみ収集コンテナを前日設置し、翌日回収する方法も検証が必要では。

町長 コンテナ回収の見直しと合わせて、拠点回収やふれあい収集の拡大など検討する。

三瓶 田村市から受け入れているごみがなくなった場合、焼却炉の連続運転は可能か。

町長 間欠運転※など可能か調査をしている。

三瓶 廃材を受け入れてはどうか。

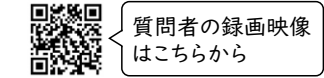
町長 あわせ産廃という法律上の規定があるため、そちらも検討していく。

三瓶 温水利用はどうか。

町長 温水発生装置のトラブルが多く供給が難しい。



議員 松村 妙子 さん



子ども誰でも通園制度の推進は

令和8年度本格実施に向けて施設との協議

答弁

松村 子ども誰でも通園制度とは。

子育て支援課長 保育所等の施設を利用してない、満3歳未満の子どもが対象である。保護者の就労等の要件問わず、施設等の利用ができる新たな通園制度。

松村 従来からの「一時預かり保育事業」と「子ども誰でも通園制度」との違いは。

子育て支援課長 一時預かり事業は、保護者の子育てにかかる負担を軽減するため、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった0〜5歳児の子どもを対象とする。

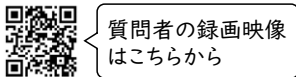
子ども誰でも通園制度は、保育所等に通っていない満3歳未満の未就園児に対し、良質な生育環境を提供することで、より良い育ちを支えていくことを目的としている。



4月に開園する岩江こども園



議員 山崎 ふじ子 さん



人生の終末期を自分らしく

人生会議を広めたい

答弁

山崎 人生の最終段階における医療や介護について、前もって話し合う手順を『人生会議』という。自分で判断できるように、終末期の迎え方を考えておくことは大切である。『人生手帳』に希望を書いておくと、家族や医師に伝えることができる。人生会議や人生手帳を広めていくべきではないか。

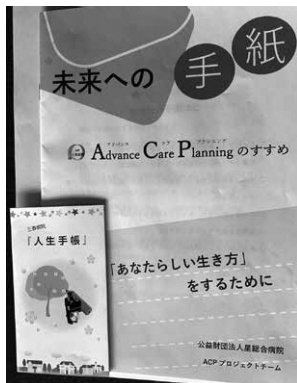
保健福祉課長 人生の最終段階における医療や介護の在り方ということについては、本人の意思尊重がもっとも重要であり、すべての人に共通した重要課題でもある。

これまでに、11か所のサロンで『人生会議』に取り組んできた。生死に関わる問題なので、デリケートな課題である。しかし、自分らしく生きるための仕組み作りという面もある。

地域包括システムの中に、『人生会議』というプロセスを折り込んで広めていきたいと考える。

町内の開業医で、往診をしてもらえるところはあるか。

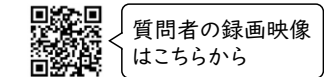
三春病院をはじめ8医療機関がある。



人生会議



議員 橋本 善一郎 さん



パークゴルフ場の計画はあるのか

具体的な検討策を進める段階にはない

答弁

橋本 三春町の北部においても少子高齢化が進む中、少しでも交流人口や移住者を増やすことが必要である。北部地域から要望のあるパークゴルフ場や、町民の憩いの場となる公園等の設置は。

町長 用地の確保や管理・運営方法、整備費用や管理費用などの問題が考えられる。具体的な検討を進める状況ではない。

橋本 太陽光発電の設置に対して、町の対応は。

町長 再生可能エネルギーの発電設備の計画で、遵守事項等を明示し、トラブルの発生防止に取り組んでいる。

橋本 住宅建設促進を図るため、今後北部地域にも上水道整備が必要だと考えるが。

町長 北部地域においては、現在計画はない。



田村市のパークゴルフ場